

Interim Business Report 2025

第53期中間ご報告（2025 年1月1日から6月30日まで）

株主・投資家の皆様へ

第53期第2四半期（中間期）が終了致しましたので、事業の概況についてご報告申し上げます。

当中間期において、当社グループは、次の成長ステージに向けて日米ともに大型出店を行いました。

国内は、新店『那須パラダイスヴィレッジ』（宿泊飲食複合施設）の立ち上げに時間を要しておりますが、若手リーダーの台頭の兆しが見え始め、中でも組織全体が活性化したラ・ボエム（イタリアン業態）や、インバウンド需要が堅調な権八（創作和食業態）が既存店業績（売上高前年同期比 5.7% 増）を牽引し、売上高は前年同期比 7.9% 増の 53 億 3 百万円となりました。営業利益については、新店の開業費用を計上したことなどにより、前年同期比 48.5% 減の 2 億 44 百万円となりました。また、前中間期は法人税等調整額で 1 億 2 百万円の利益押し上げ要因がありましたが、当中間期は税金費用 1 億 1 百万円を計上したこと、中間純利益は前年同期比 75.0% 減の 1 億 35 百万円となりました。

米国子会社（カリフォルニア州）は、1 月に大規模な山火事が発生した影響で、既存店 2 店舗の売上高は前年同期比 19.6% 減となった一方で、新店の『セッテチェント』の立ち上げは好調で、米国全店では売上高は前年同期比 27.4% 増の 10 億 98 百万円となりました。厳しい経営環境の中、守りの営業で費用を抑えたことで、営業損失は 57 百万円（前年は 74 百万円の営業損失）と縮小したものの、為替の影響（円高）で為替差損 50 百万円を計上したことなどにより、中間純損失は 1 億 24 百万円（前年は 61 百万円の中間純損失）となりました。

その結果、当中間期の連結業績は、売上高 64 億 2 百万円（前年同期比 10.8% 増）、営業利益 1 億 87 百万円（同 53.1% 減）、経常利益 1 億 15 百万円（同 70.7% 減）、親会社株主に帰属する中間純利益 10 百万円（同 97.8% 減）となりました。第 1 四半期は営業損失、経常損失、四半期純損失とすべて赤字でありましたので、第 2 四半期に巻き返しが図れた意味は大きいと感じております。

下期におきましては、新店の収支改善が課題となります。国内は、地道な人材育成による組織活性化とマネジメント力向上で既存店業績

※本Reportに記載の業績計画は、発表日現在(2025年7月31日)において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって計画数値と異なる可能性があります。

を維持していくとともに、『那須パラダイスヴィレッジ』については、隣接する那須ガーデンアウトレットからの視認性や導線の改善、イベント（音楽ライブ、ファーマーズマーケット、ハロウィンやクリスマス装飾等）の開催、そして販促活動にも力を入れることで施設の認知度向上と集客力アップに注力し、“新しい商業施設パッケージ”の創造・確立を目指します。さらには、都内への既存業態『カフェラ・ボエム下北沢』の出店も進めてまいります。

米国子会社については、出店するカリフォルニア州は全米の中でも高い最低時給（ウエストハリウッドは 19.65 \$）でありますので、コスト管理が業績を左右するといっても過言ではありません。各店において業務分担の明確化と効率化に取り組むことで、営業体制及びコストコントロールの強化に努めてまいります。好調なスタートを切った『セッテチェント』は、ガーデンダイニングという特徴を活かして週末のウェディング等のパーティー獲得でさらなる売上拡大を目指します。

以上の結果、国内新店は立ち上げが遅れたものの、米国が予想を上回る速さで山火事から回復し、新店も好調に推移しておりますので、通期業績は期初予想を据え置き、売上高 134 億 80 百万円（前年比 14.3% 増）、営業利益 6 億 25 百万円（同 16.9% 減）、経常利益 6 億 22 百万円（同 17.2% 減）、当期純利益 3 億 66 百万円（同 28.9% 減）を目指してまいります。

なお、長きに渡り、配当を出せないことをお詫びしてまいりましたが、当中間期で黒字が出て、大型投資にひと区切りつきましたので、復配の実現を目指してまいります。2025年12月期第3四半期の業績と財務状況をもって実施時期や金額について判断したいと考えておりますので、株主の皆様には、引き続き当社の事業展開にご注目いただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025 年 8 月

代表取締役社長 長谷川耕造

要約連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	2024年中間 （自 2024年1月1日 至 2024年6月30日）	2025年中間 （自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）
売上高	5,776	6,402
売上総利益	972	806
販売費及び一般管理費	572	619
営業利益	399	187
経常利益	395	115
親会社株主に帰属する 中間純利益	480	10

（参考）会社別実績 ※下記国内・米国の業績は連結修正前の会社別数値です。（単位：百万円）

科目	当社(国内)		子会社(米国)	
	2024年中間	2025年中間	2024年中間	2025年中間
売上高	4,914	5,303	862	1,098
営業利益又は営業損失(△)	474	244	△ 74	△ 57
経常利益又は経常損失(△)	456	240	△ 61	△ 124
中間純利益又は中間純損失(△)	541	135	△ 61	△ 124

※為替レートUSD/JPY 161.07円

要約連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	2024年中間 （自 2024年1月1日 至 2024年6月30日）	2025年中間 （自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	303	553
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 731	△ 829
財務活動によるキャッシュ・フロー	152	163
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	△ 16
現金及び現金同等物の増減額	△ 247	△ 128
現金及び現金同等物の期首残高	1,180	788
現金及び現金同等物の中間期末残高	933	660

決算資料の参照先
<https://www.global-dining.com/ir/>

決算説明会動画



144.81円

『那須パラダイスヴィレッジ』3/19グランドオープン

2024年暮れからソフトオープンしていた『那須パラダイスヴィレッジ』が、2025年3月19日に全館グランドオープン致しました。当日は地元の方々を中心に約2千名の皆様にご来場いただき、大盛況のうちに終了。4月にはガーデンテラス席が誕生し、昼間はパソルの下で優雅なカフェタイムを、夜には幻想的な灯りの中で記憶に残るディナータイムをお楽しみいただけます。7月には音楽ライブ、ファーマーズマーケット、ピアガーデン（期間限定）といったイベントを開催しており、今後は当社の得意とするハロウィンやクリスマスの装飾にも力を入れ、当該施設から那須地域を盛り上げてまいります。10月1日より株主優待割引を適用させていただきますので、この機会にぜひお立ち寄りください。



ガーデンテラス席（ペット同伴可）



施設名：那須パラダイスヴィレッジ
（1Fフードコート、2Fホテルパラディソ）
住 所：栃木県那須塩原市鹿野崎字戸屋 109番7

『モンsoonカフェ代官山』開業30周年

2025年9月をもって、同店は開業30周年を迎えました。これもひとえに皆様方の長年にわたる温かいご支援、ご愛顧の賜物と深く感謝申し上げます。この節目となる月に、周年記念パーティーを企画いたしましたので、皆様奮ってご参加ください。

日時：2025年9月26日（金）18時～ 事前予約不要
内容：食べ飲み放題 2,000円（税込）※株主優待割引はございません
会場：モンsoonカフェ代官山 東京都渋谷区鉢山町15-4 1・2F
<https://monsoon-cafe.jp/daikanyama/>
※詳細はWEBサイトやSNSをご覧ください。



COMING SOON!

『カフェラ・ボエム下北沢』
2025年10月オープン（予定）
所在地：東京都世田谷区代沢
2-29-12 パークアクシス
下北沢 1F



会社概要（2025年6月30日現在）		Corporate Data
商 号	株式会社グローバルダイニング GLOBAL-DINING, INC.	
本 社 住 所	〒107-0062 東京都港区南青山七丁目1番5号	
主 な 事 業 内 容	レストラン経営による飲食事業	
設 立 年 月 日	1973年10月5日	
資 本 金	48,968千円	
従 業 員 数	単体174名 連結194名（連結臨時従業員数850名）	
店 舗 数	47店舗（海外3店舗含む）	
子 会 社	グローバルダイニング、インク。オブ カリフォルニア	
役 員	代表取締役社長 長谷川 耕造 取締役 副社長 小林 庸麿 取締役 企画開発グループリーダー 樋口 琢匠 取締役 監査等委員 藤本 三郎 取締役 監査等委員（社外） 大島 明子（岡本 明子） 取締役 監査等委員（社外） 川井 隆史	

株式情報（2025年6月30日現在）		Stock Information
発行可能株式総数	16,896,000株	
発行済株式の総数	10,420,800株	
株 主 数	3,546名	
大 株 主	※持株比率は分母から自己株式（711株）を除いて計算しております。	
株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
長谷川 耕造	6,153	59.05
株式会社スペースラボ	792	7.60
ハセガワインターナショナルトレードカンパニー	626	6.01
ヨシダ トモヒロ	486	4.67
株式会社SBI証券	129	1.24
株式メモ		
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社	
郵送物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号	
電話照会先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-782-031	
ホームページアドレス	https://www.smtbjp/personal/procedure/agency/	



要約連結貸借対照表（単位：百万円）

科目	前連結 会計年度末 （2024年12月31日現在）	当中間連結 会計期間末 （2025年6月30日現在）
資産の部		
流動資産	2,043	1,643
現金及び預金	788	660
売掛金	590	475
原材料及び貯蔵品	281	273
その他	382	233
固定資産	8,191	8,345
有形固定資産	7,051	7,207
建物及び構築物（純額）	2,840	3,472
土地	2,953	2,865
その他	1,257	869
無形固定資産	9	8
投資その他の資産	1,130	1,129
差入保証金	1,063	1,061
その他	66	68
資産合計	10,234	9,989

要約連結貸借対照表（単位：百万円）

科目	前連結 会計年度末 （2024年12月31日現在）	当中間連結 会計期間末 （2025年6月30日現在）
負債の部		
流動負債	1,833	1,776
支払手形及び買掛金	367	279
1年内返済予定長期借入金	428	459
その他	1,037	1,037
固定負債	3,066	3,020
長期借入金	1,931	1,953
資産除去債務	643	633
その他	491	433
負債合計	4,900	4,796
純資産の部		
資本金	46	48
資本剰余金	2,146	2,148
利益剰余金	2,631	2,642
為替換算調整勘定	460	301
その他	48	50
純資産合計	5,334	5,192
負債・純資産合計	10,234	9,989